

今年の薬害根絶デーは8月25日です！

☆民医連のつどい☆

日時：8月25日 9:00～ 場所：平和と労働センター 2階ホール

講演「子宮頸がんワクチンの安全性、有効性を考える、医療現場は医薬品情報とどう向き合うか」(仮題)

講師：別府 宏樹(「正しい治療と薬の情報」誌編集長薬害オンブズパーソン会議 副代表)

質疑、各地の取り組み交流

☆薬害根絶デー プログラム☆

11:45～ 厚労省前リレートーク

13:00～ 厚労省前庭・碑の前行動

14:00～ (弁護士会館講堂・クレオ)

(1) 集会 第1部 子宮頸がんワクチン

- ・被害の概要 隈本邦彦(薬害オンブズパーソン会議)
- ・被害者のお話 ・HPV ワクチン研究会報告

(2) ワークショップ グループに分かれ被害者と交流

(3) 集会 第2部 薬被連報告、薬弁連報告、行動提起

18:00～ 街頭宣伝 (有楽町マリオン前)



第1回ミニ学習会～薬害C型肝炎～を開催しました♪ 講師 元原告・坂田和江さん

2014.6.26 ミニ学習会という初めての試みでしたが、薬剤師、事務さん、学生さんが集い、14名で開催しました。お忙しい中ありがとうございます♡
繰り返される薬害被害はいつになればストップできるのだろうか!

これまでの薬害を丁寧に振り返ってくれました。「過去を忘れるものは過去を繰り返す」→繰り返す答えは出ています。被害を知って、きちんと受け止め、訴えていかないといけない…と改めて思わせてくれる講演でした。

また、青森の医師の手紙の話もありました。薬によるC型肝炎の被害を裏付けた手紙は厚労省に送られましたが、まともに取り扱われませんでした。被害の状況さえも無視する態度はやりきれない、悔しい限りです。

「裁判に参加しようと思う」「わかった。応援する」坂田さん夫妻の会話です。2人の娘さんも応援もありました。なによりの「支え」に感動しました。

薬物治療が医療の中心である以上、薬剤師の責任は重い。薬による理不尽な被害を繰り返さない意思を持って、薬害の芽を見抜く感度を磨いていこう!と思いました。

みなさんに感想を伺いました。
医療関係者としてできること、話を聞いたからにはやっていこうと思うことが話されました。また、感想文では「どうしてこんな対応ができるのかと国、加害企業に憤りを感じた」、「次女さんと同じ23歳です。母が坂田さんと同じ被害にあったかもしれないと思うと・・・」などありました。
もし自分だったら、もし家族だったら・・・被害者でも加害者でもいいです・・・想像してみてください。

